

令和6年度調達改善計画の年度末自己評価（概要）

重点的な取組

▶ 長期契約を活用した装備品等の調達

以下の案件を契約締結し、984億円の経費の縮減効果を得た。

- | | | |
|-----------------------|--------------|-----------|
| ①輸送ヘリコプター（CH-47JA）12機 | 縮減額： 約▲341億円 | （約▲14.2%） |
| ②輸送ヘリコプター（CH-47J）5機 | 縮減額： 約▲226億円 | （約▲19.2%） |
| ③PAC-2GEMの再保証1式 | 縮減額： 約▲308億円 | （約▲29.0%） |
| ④F110エンジンの維持部品包括契約1式 | 縮減額： 約▲109億円 | （約▲14.0%） |

共通的な取組

▶ 調達事務のデジタル化の推進

定型的な事務作業の自動化により、1,037件の物品の調達業務に必要な書類・メールを作成し、507件の調達情報を更新した。

その他の取組

▶ 少額随意契約の更なる改善

調達内容をホームページ上で公開し、見積書を公募したことなどにより、延べ1,096者の新規事業者が参入した。

▶ 事業者の準備期間及び契約履行期間の確保

事業者へのアンケート調査やヒアリングを実施し、契約履行に必要な期間を十分に確保したことなどにより、11件の一者応札を改善した。

▶ インセンティブ契約制度の促進

潜水艦用主蓄電池の契約において、契約相手方からの製造工程の改善及び効率化による原価改善の申告に基づき、約7千万円のコストを削減した。

以上、令和6年度の取組について、各会計機関が着実かつ適切に実施